

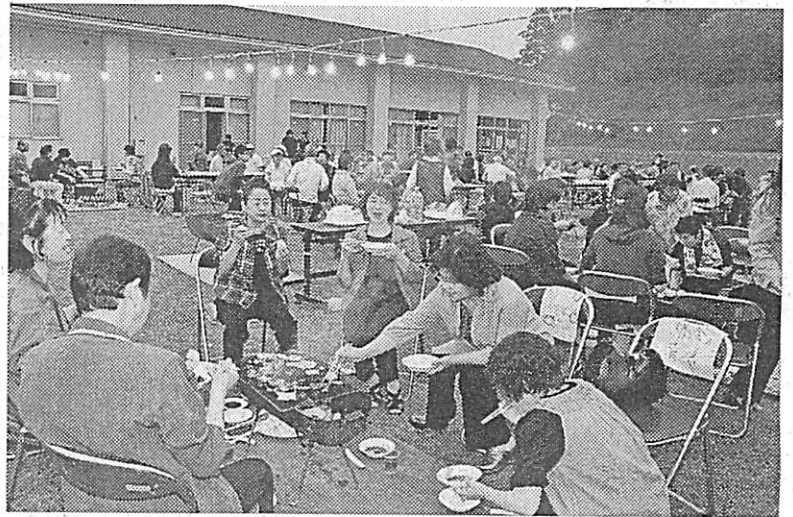
介護施設で 夜のカフェ

輝北 「地域の核」好評

鹿屋市輝北町市成の介護老人福祉施設「みどりの園」で、2カ月に

1回、地域の人や入園者の家族らを招いて夜の宴が開かれていた。参加者は多いときで100人を超え、少子高齢化の集落で、地域の核となっている。

同園は3年前から「ナイトカフェ」として、鍋パーティーやコンサートを開催。誰でも参加でき、5月24日はグラウンドゴルフ大会やバーベキューがあった。参加者は会費千



バーベキューを楽しむ参加者ら

＝鹿屋市輝北町市成

円ほどで、歌やフラダンスの出し物を楽しみながら、輝北産の肉や野菜を堪能した。

旧輝北町にあった小学校は統合され、近くの市成小学校も閉校。地域の核としての役割を担っていた学校がなくなり、地域ぐるみでの付き合いが希薄になるのを懸念して、同施設の地域貢献委員会が企画した。

この日が2回目の参加という湧水町木場の無職池田勝郎さん(59)は「肉も野菜もおいしい。人も優しくて地域の人との親睦も深まる」。同施設の吉元和浩理事長(48)は「人が集まれば、入所者も喜んでくれる。なくなった小学校の代わりに地域の中心になれば」と話している。

(上山智子)